

## 新し尿処理施設「<sup>う</sup>つ<sup>ぎ</sup>えん 海津木苑」が竣工

古賀市と福津市の、し尿や浄化槽汚泥を処理する新たな施設「海津木苑」。旧施設の老朽化を背景に、令和3年からおよそ3年を要し、新施設が竣工しました。

新施設の特徴は、脱臭設備に生物脱臭を採用したことで、薬品費を従来の3分の1程度まで削減し、古賀・福津市と広域処理を行うことで、20年間でおよそ20億円のコスト縮減が見込んでいます。

施設面では、玄関などの段差を無くしたユニバーサルデザインの採用や、施設内の壁面に絵を描くなど、施設見学に訪れる人たちに楽しく学んでもらうことを意識しています。また、屋根に太陽光パネル（5kWh）を設置し、大型の非常用発電機を備えるなど、環境への配慮と災害時の避難所としての機能を両立させています。

### ■落成式について

- ・日時 12月16日（土）午前10時～  
（9時30分受付開始）
- ・場所 古賀市海津木苑（古賀市鹿部459番地）
- ・内容 事業経過報告、感謝状贈呈（対象：施工業者・地元行政区長）など
- ・出席者 田辺一城古賀市長、原崎智仁福津市長、宮内秀樹衆議院議員、阿部弘樹衆議院議員、吉田健一朗福岡県議会議員、古賀市議、福津市議、地元行政区関係者など

※閉式後、施設の内覧会を実施。取材・撮影可。

### ■施設概要

- ・施設種類 汚泥再生処理センター
- ・処理区域 古賀市・福津市
- ・処理対象物 し尿・浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥
- ・敷地面積 10,399.73 m<sup>2</sup>
- ・建築面積 912.35 m<sup>2</sup>
- ・処理方式 水処理・高負荷脱窒素処理方式  
資源化・汚泥助燃剤化方式
- ・処理能力 52 kℓ/日
- ・工期 令和3年6月～令和5年12月
- ・総事業費 29億3千9百万円



■施設の特徴

- ・玄関からロビーまでの段差をなくしたユニバーサルデザインを採用し、水質試験室や処理設備室に大きな見学用窓を設け、誰でも見学しやすい環境整備を行いました。また、社会科の授業の一環で訪れる市内の小学4年生が楽しく学べるように、施設内の壁面に絵を描くなど工夫を凝らしています。
- ・屋根に太陽光発電パネル（5kWh）を設置し、環境に配慮するだけでなく、災害時の避難所として施設が活用できるように、大型の非常用発電機を設置しています。
- ・処理工程で発生する汚泥は、含水率を70%以下に脱水することで、古賀清掃工場の燃料（助燃剤）として再利用します。

【問い合わせ先】

古賀市役所 環境課 海津木苑 担当：吉田・国本  
電話：092-944-1030（海津木苑）